

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36405	染色デザイン Dyed Design	浅尾 知子			1	選択	1、2後期

科目の概要

私達の生活空間には衣服やインテリア製品など染色された布が多く存在しています。また、染色の歴史は古く、染色方法も多様で一般にあまり技法の種類は知られていません。この授業では、ハンカチ・バンダナを板ではさんで染める「絞り染め」や、糸と針で服地を縫い絞って染め上げる染色技法、さらにステンシル染めの技法を使いエコバックを染め上げるなど複数の染色技法を学びます。染めの実習をおこないながら染色で使う道具や歴史などについても学習します。授業をとおして、建学の精神・社会人基礎力・p i s a型学力を身に付け、個性的な染色作品ができるように潜在能力開発に努める。この授業内容は、ディプロマ・ポリシーの②と③に相当する。

学修内容	到達目標
① 染色について技術や知識を理解する。 ② 染色のデザインについて追求する。 ③ 染色の歴史などについて知る。 ④ 染められる布などについても調べる。	① 染色の知識や技法を正しく修得することができる。 ディプロマ・ポリシーの②と③に相当する。 ② 染色のデザインの感性を高めることができる。ディプロマ・ポリシーの②に相当する。 ③ 染色の歴史について説明できる。ディプロマ・ポリシーの③に相当する。 ④ 染める道具や使用方法について説明できる。ディプロマ・ポリシーの②に相当する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	糸や紐の絞り染、板絞り染め、ステンシル染などの技法を使って布を染めることができ全体的に理解できる。
	働きかけ力	
	実行力	課題提出のために作品を検討し進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	作品制作では、問題点を検討し制作できる。
	計画力	
	創造力	授業では「なぜ?」「どうして?」という疑問を持ちながら考え制作できる。
チームで働く力	発信力	話だけで伝えるのが難しい場合には、図形を描いて説明できる。
	傾聴力	染色の技法・構図・配色など、教員の説明をよく聞き理解できる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

必要に応じてプリントを配布する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：基礎デザイン

学修上の助言	受講生とのルール
衣服、Tシャツ、エコバック、バンダナなどの作品を染色します。それぞれの染色技法を守りながら自由にデザインして染色してください。また、自分が好きなデザインをネットや雑誌で調べて染めると納得できる染色作品が作れるでしょう。技法や配色方法などわからない時は教員に質問して解決すること。	① 作品布を染色する時は、私語をしないで真剣に取り組むこと。 ② 染色で使った道具は、各自で責任を持ってかたづけすること。 ③ 作品製作費・・・染色材料費900円 ※ 染料代、バック代、バンダナ代、練習布代

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
平常評価	レポート	0	①					
			②					
			③					
			④					
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			・制作した作品については完成度(特に優れて高い。染色された布を見て染技法の判断に優れている：90点、作品が優れて高い。染色布を見て染技法の判断ができる：80点、完成はしているが仕上がりは普通。染色布を見て染技法の判断がまあまあできる：70点、完成はしているが仕上がりは悪い。染色布を見て染技法の判断がややできる。：60点、完成できてない。染色布を見て染技法の判断があまりできない：50点)を評価する。PISA型学力の評価としては、獲得した染色知識・技能を活用する力があるか課題により評価する。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			主体性：糸や紐の絞り染、板絞り染め、ステンシル染などの技法を使って布を染めることができ全体的に理解できる。 実行力：課題は必ず検討し解決できる。 課題発見力：自分の学修上の問題点の解決策を考えることができる。 創造力：授業内に、「なぜ?」「どうして?」という疑問を持ちながら、考え制作することができる。 発信力：話だけで伝えるのが難しい場合には、資料などを用意できる。 傾聴力：染色の技法・構図・配色など、教員の説明をよく聞き理解できる。 規律性：提出物の期限を守ることができる。遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A：制作課題に対して、一生懸命に制作に励み、アイデアもたくさん出し、染色の技術も良く、デザイン性に優れ、完成度の高い作品として仕上がっている。課題内容を正確に捉え、配色や構成など大変よくできている。魅力的でオリジナリティな作品に仕上がっている。</p> <p>S：Aの基準に加えて、積極的な受講態度が見られ、作品はクラスの中でも際立って優れた高い評価となっている。</p>	<p>B：制作課題は提出期限までに、教員の指示通りの制作を行って完成できている。基本的な染色デザインの知識を身につけている。</p> <p>C：Bの基準に対して、作品制作の仕上がりが悪く、授業態度も努力の姿勢が感じられない。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」 「絞り染め染色」「板締め絞り染色」「ステンシル染め」の参考見本など見せながら制作の説明をします。	講義 教員が制作方法の説明。	科目の概要を理解できる。	(予習)染色技法についてインターネットや書籍等でしらべておく。 (復習)次回は、どんなデザインの作品を染めるかいろいろアイデアを考えてくる。パソコンで指示を出す。	90	主体性 実行力 創造力 傾聴力
2	「絞り染め染色」① 絞り染め技法の説明後、絞り染めの理解を深めるため練習布を使って絞り染めの練習をおこなう。練習布に針と糸を使って縫い絞り⇒更にタコ糸で練習布を絞る⇒練習布を水に浸ける⇒1回目の染色⇒水で染料を洗い流す⇒タコ糸で絞る⇒2回目の染色を行う⇒水で染料を洗い流す⇒干し場で乾燥させる⇒乾燥後に糸やタコ糸を取りアイロンをかけて提出。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。パソコンを活用して授業内容連絡を行う。	授業の内容やスケジュールなど理解する。参考見本など見せるので把握できる。	(予習)ネットや雑誌などで絞り染めのデザインを調べ、興味のあるデザインは携帯で写真を撮って持参する。パソコンで指示を出す。 (復習)絞るのに適した布や針の種類などをまとめてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	「縫い絞り染色」② 練習布に針と糸を使って縫い絞り⇒更にタコ糸で練習布を絞る⇒練習布を水に浸ける⇒1回目の染色⇒水で染料を洗い流す⇒タコ糸で絞る⇒2回目の染色を行う⇒水で染料を洗い流す⇒干し場で乾燥させる⇒乾燥後に糸やタコ糸を取りアイロンをかけて提出。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。パソコンを活用して授業内容連絡を行う。	染めの説明後、絞り染めの理解を深めるため練習布を使って絞り染めることができる。	(予習)前回の授業で学んだ縫い絞りの技法や手順などをまとめておく。 (復習)今回の授業で塗った布を見直し、あまり上手に縫えてない箇所があったら、正しく縫い直しておく。	90	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力
4	「縫い絞り染色」③ Tシャツに針と糸を使って縫い絞り⇒更にタコ糸でTシャツを絞る⇒練習布を水に浸ける⇒1回目の染色⇒水で染料を洗い流す⇒タコ糸で絞る⇒2回目の染色を行う⇒水で染料を洗い流す⇒干し場で乾燥させる⇒乾燥後に糸やタコ糸を取りアイロンをかけて提出。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。パソコンを活用して授業内容連絡を行う。	染めの説明後、絞り染めの理解を深めるため練習布を使って絞り染めることができる。	(予習)前回の授業で良く染めることができた箇所と、上手く染めることができなかった箇所をまとめて次回に活かすようにしておく (復習)今回に染めた技法や工程についてまとめ、修正できる箇所は修正しておく。パソコンで支持を出す。	90	主体性 創造力 発信力 傾聴力
5	「縫い絞り染色」④ Tシャツに針と糸を使って縫い絞り⇒更にタコ糸でTシャツを絞る⇒練習布を水に浸ける⇒1回目の染色⇒水で染料を洗い流す⇒タコ糸で絞る⇒2回目の染色を行う⇒水で染料を洗い流す⇒干し場で乾燥させる⇒乾燥後に糸やタコ糸を取りアイロンをかけて提出する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	Tシャツや服に縫い絞りとタコ糸で絞り染めできる。	(予習)前回に縫った絞り布のデザインを更に良くする為にはどのように縫ったらよいか考えてくる。 (復習)今回に染めた作品を見て更に良い作品に染め上げるにはどんなデザインに染めたらいいか考えてくる。	90	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
6	「縫い絞り染色」⑤ Tシャツに針と糸を使って縫い絞り⇒更にタコ糸でTシャツを絞る⇒練習布を水に浸ける⇒1回目の染色⇒水で染料を洗い流す⇒タコ糸で絞る⇒2回目の染色を行う⇒水で染料を洗い流す⇒干し場で乾燥させる⇒乾燥後に糸やタコ糸を取りアイロンをかけて提出する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。パソコンを活用して授業内容連絡を行う。	デザインに従って服地に糸や針で縫い絞り染めることができる。	(予習)絞り作品の配色について雑誌やネットで調べ検討してくる。パソコンで支持を出す。 (復習)今回染めた配色を見直し更に良い配色にするためには、どんな配色なのか検討し迷ったら教員に質問する。	90	主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性
7	「縫い絞り染色」⑥ Tシャツに針と糸を使って縫い絞り⇒更にタコ糸でTシャツを絞る⇒練習布を水に浸ける⇒1回目の染色⇒タコ糸で絞る⇒2回目の染色を行う⇒水で染料を洗い流す⇒干し場で乾燥させる。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	1回目の絞り染めした布を水で洗い後、2回目の絞りを加えて染色し、水洗いし完成できる。	(予習)授業では最初から染められるように準備しておく (復習)提出作品について教員が批評した所をメモし、次回に活かすようにまとめておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
8	「板締め絞り染色」① 練習布の綿ブロードを2枚の板とクランプで強く締めつける⇒染色液に入れ染める⇒水で染料を洗い流す⇒板を布から外す⇒水洗い後に干し場で乾燥させる⇒乾燥後にアイロンをかけて提出する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。パソコンを活用して授業内容連絡を行う。	練習布を2枚の板で挟んだ後、水に浸け、その後染料液に入れ染め上げ、板を外し、干して完成できる。	(予習)板締め絞りの作品はどんな柄のものがあるかネットで調べておく (復習)今回の教員の説明で疑問に思った所をまとめておき次回の授業で質問する。	90	主体性 課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「板締め絞り染色」② ハンカチやスカーフを2枚の板とクランプで強く締めつける⇒染色液に入れ染める⇒水で染料を洗い流す⇒板を布から外す⇒水洗い後に干し場で乾燥させる⇒乾燥後にアイロンをかけて提出する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。パソコンを活用して授業内容連絡を行う。	ハンカチやスカーフを2枚の板で挟んだ後、水に浸け、その後に染料液に入れ染め上げ、板を外し、干して完成できる。	(予習)どのような色で作品を染めるかネットや雑誌を見て考えておく。パソコンで指示を出す。 (復習)今回、板で絞った布の絞り方法を更に良い技法にするためには、どんなところに気をつけたら良いか検討しておく。	90	主体性 傾聴力 規律性
10	制作した作品について振り返る。制作の技法や感想などレポートを書いて提出。	課題の作成と提出 教員が事前に課題の説明を行います。学生は、教員の説明に従いレポート課題を教員に提出する。	課題作品や技法の感想レポートが書けて提出できる。	(予習)教員の説明を復習しておく。 (復習)授業で学んで技法やデザイン方法を確認しておく。	90	主体性 課題発 見力 傾聴力
11	「ステンシル染め」① エコバックをステンシル染める。 デザイン方法や染色方法について説明する⇒デザインを考える⇒デザインを決定する⇒紙にデザインを転写⇒デザインを描いた紙を刀で彫り型紙を作る⇒型紙を使って、染料と刷毛でエコバックを染める。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	エコバックをステンシル染めし、デザイン方法や染色方法について理解できる。	(予習) ステンシル染めのデザインはどんなものがあるかネットで調べてくる。 (復習) エコバックのステンシル染めデザインのアイデアを複数考えてくる。	90	主体性 実行力 創造力 傾聴力
12	「ステンシル染め」② エコバックをステンシル染める。 デザイン方法や染色方法について説明する⇒デザインを考える⇒デザインを決定する⇒紙にデザインを転写⇒デザインを描いた紙を刀で彫り型紙を作る⇒型紙を使って、染料と刷毛でエコバックを染める。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	画用紙にデザインの輪郭を描け、染める部分を刃で切り取って型紙を制作できる。	(予習)多くのデザインアイデアを考え、その中から1つ選べるように検討しておく。 (復習) ステンシル染めのデザインを更に検討し、良いデザインになるよう考えてくる。	90	主体性 課題発 見力 傾聴力
13	「ステンシル染め」③ エコバックをステンシル染める。 デザイン方法や染色方法について説明する⇒デザインを考える⇒デザインを決定する⇒紙にデザインを転写⇒デザインを描いた紙を刀で彫り型紙を作る⇒型紙を使って、染料と刷毛でエコバックを染める。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。パソコンを活用して授業内容連絡を行う。	・型紙を制作できる。 ・ステンシル染めの技法で染め上げることができる。	(予習)染めたいデザインをネットや雑誌を見て考えてくる (復習) ステンシル染めのデザインを更に検討し、次回はずぐ染めることができるように準備しておく。	90	主体性 創造力 発信力
14	「ステンシル染め」④ ステンシル染めの色や助剤について説明する。 染が完成した人はアイロンをかけて提出する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。パソコンを活用して授業内容連絡を行う。	作品にアイロンをかけて提出することができる。	(予習)染色している作品の構図や配色など再度検討し良い作品になるように準備しておく。 (復習)授業で学んだ染色の技法についてまとめ。次回の授業で作品が提出できるように作品を進めておく。	90	主体性 創造力 傾聴力 規律性
15	染色の技法、歴史、種類、染色の産地などについて理解する。課題レポート提出により出席。	講義と実習 日本や世界の染色の技法、歴史、種類、染色の産地などについて説明する。対面授業で開催する。授業後に課題レポートを提出する。	染色の技法、歴史、種類、染色の産地など理解できる。	(予習)授業で学んだ染色技法について復習する。 (復習)この授業で学んだことをまとめ復習する。	90	主体性 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力